

あびらの未来を、みんなで考える。

新しい総合計画づくりが始まっています

「総合計画」は、町の未来のかたちを決める大切な計画です。

現在、平成29年度から始まった第2次総合計画に基づき、令和8年度までの10年間で、さまざまな取り組みが進められています。

この計画は、教育や子育て、人づくりやコミュニティづくり、経済や産業、健康や福祉、生活環境や生活基盤など、安平町に関わるあらゆる分野の「方向性」を示す「まちづくりの設計図」であり、将来の「ありたい姿」を出発点として定め、そこに向かうための道筋が段階的に描かれています。

本ページでは、計画に関するお知らせや令和9年度からスタートする「第3次総合計画」の策定へ向けた町の取り組みなどについてお知らせします。

前回のおさらい

前号では、私たち安平町（地方自治体）の役割と、その役割を果たすための目的としての「住民の福祉」やこれと同じように大切な考え方である「well-being（ウェルビーイング）」についてお伝えしました。

「福祉」と「ウェルビーイング」は、住民の皆様の『幸せ』ということができますが、そのかたちはさまざま。その多様なかたちの幸せを追求できるようにするための土台作りが「まちづくり」であり、その設計図が総合計画です。

広報あびら8月号では、第2次総合計画の構造やその大切さについて取り上げました。今回は、そこからもう少し踏み込んで、そもそも総合計画とはどういうものなのか、少し視点を変えて掘り下げていきます。



「総合計画」とはどういうものなのか

下記は広報あびら8月号でご紹介した図です。

【第2次安平町総合計画の構成と期間】

●基本構想（10年間）

H29～R8
町の将来像や政策、施策の大枠を示す長期的な指針。

●基本計画（前期2年間、中期4年間、後期4年間）

H29～H30 R1～R4 R5～R8
基本構想を実現するための中長期的な指針。政策を分野別にまとめ、現状と課題から事業の方向性などを示し、達成度を測るために成果指標を設定している。

●実施計画（3年スパンで、毎年度見直し）

基本計画に基づいた個別具体的な事業を立案。

